

2021年度 小委員会活動成果報告

(2022年1月28日作成)

小委員会名	JASS17 ガラス工事改定小委員会	主 査 名：角田 誠 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：橋高 義典 主 査 名：角田 誠
設 置 期 間	2021年4月 ～ 2023年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・JASS17 ガラス工事改定小委員会は、前回改定から10年以上経過したJASS17 ガラス工事の改定を行う。委員会の体制としては、小委員会とWGを設置する。小委員会では改定方針と執筆作業の体制を決定する。具体的には、前回改定以降の技術の変化、基準類の変更の洗い出しを行う。これを踏まえ、節の構成の見直しの必要性の検討、変更・加筆すべき内容の検討を行う。これらの作業を通じて、全体の改定方針を決定する。</p> <p>また、SSG 構法検討WGを設置し、最新の情報を収集した上で、SSGについての記述を見直すかどうかを検討する。</p> <p>これら方針が明確になったところで、執筆WGを設置して、分担して執筆を行う。なお、SSG 構法以外にも、旧来のJASS からほとんど変更していない数値などは、今回一通り見直す予定である。</p> <p>初年度： ・前回改定以降の技術の変化、基準類の変更の洗い出し等</p> <p>2年度： ・査読実施。改定版の出版、及び講習会の開催</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：角田 誠 (東京都立大学) 幹事：清家 剛 (東京大学) 委員：石井 久史 (㈱LIXIL)、井上 朝雄 (九州大学)、江口 了 (横浜国立大学)、菊地 哲 (AGC グラスプロダクツ)、熊谷 亮平 (東京理科大学)、多賀 洋 (㈱日本設計)、俵田 忠明 (セントラル硝子㈱)、久田 隆司 (日本板硝子㈱)、松尾 隆士 (清水建設㈱)、吉田 一彦 (㈱日建設計)	
設置WG (WG名：目的)	<p>(SSG 構法検討WG) 目的：SSG 構法の現状の技術について確認し、JASS17 の記述の修正が必要かどうか検討する。</p> <p>(ガラス構法執筆WG) 目的：JASS17 ガラス工事の執筆を行う。 ガラス各構法は専門性の高い内容であるので、執筆グループを編成し、執筆を行う。内容は、ガラススクリーン構法、SSG 構法、張付け構法等である。なお、現行版1節に書かれている、ガラス構法全体に関わる事項(性能、材料、施工、製作、取付け、検査等)については、小委員会において、各構法の内容との調整をしつつ執筆を行う。</p>	
2021年度予算	227,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 査読が終了し手直しをする段階でコロナ禍が起こり、委員が集まらない状態に陥った。数名の委員により査読対応を行い、2021 年末に再査読対応版が完成した。 2. 委員会としての改定作業は終了しており、再査読の結果を待って刊行物出版、講習会開催を 2022 年度に開催する。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	